

平成30年

第4回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

## 平成30年第4回仙北市議会定例会 市政報告

平成30年第4回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、5月18日昼から19日にかけての大雨対応について報告します。低気圧の北上とそれから伸びる前線の影響で大雨が予想されたため、18日9時に災害連絡室を立上げ、市民への注意喚起や消防団への対応準備の要請、自主避難所の開設準備等を行いました。

その後、洪水警報、大雨警報のほか、土砂災害警戒情報が仙北市に発令され、建設部と農林部では、道路や橋、農地、林道の状況確認を行うとともに、17時には市内6ヶ所に自主避難所を開設したところ、3人が自主避難されました。また、防災体制の強化を図るため、18時に災害連絡室を災害対策部に移行しました。

19時30分には、西木総合開発センターに自主避難されていた3人が帰宅し、自主避難者が居ないことや、天候に回復傾向が見られたため、21時に自主避難所を閉鎖しました。

翌日には警報等が解除されました。これを受け、10時に災害対策部から災害連絡室に移行し、21日9時30分に災害連絡室を廃止しました。

次に、中国大連市での秋田県トップセールスについてです。

5月25日から27日まで、佐竹知事を先頭に県内10市町が参加し、中国からの誘客と交流を目的に、中国遼寧省大連市で秋田県トップセールスが行われました。

本市からは倉橋副市長が参加し、5月25日に開催された県主催の観光セミナーでは、現地の旅行業約40社が集まる中、四季折々の仙北市の魅力を紹介し、中国からの観光客増加に向けてアピールしてきました。このほか期間中に開催された大連市のアカシア祭り開幕式や北前

船寄港地フォーラムなどに参加し、大連市関係者及び日本からの参加自治体との交流を深めてきました。

次に、一般会計補正予算についてです。

第2号の補正額は1,121万1,000円の追加で、補正後の額は198億7,743万2,000円となります。

主な追加事業は、一般財政総務費、車輛維持管理費、庁舎耐震化事業費、定住対策新婚世帯家賃助成事業費補助金、次世代定住支援事業費補助金、マロンクラブ施設整備事業費、農業用マルチコプター導入事業費補助金、ため池等整備事業費負担金、公共土木施設災害復旧事業費などです。

なお、平成29年度一般会計決算見込み及び市税関係については、5月31日の出納閉鎖後の最終確認が必要なことから、本定例会の常任委員会で報告します。ご理解をお願いします。

それでは、各部局等の主要事項並びに諸般の状況を報告します。

## 【総務部】

### ◇固定資産税の課税誤りについて

平成29年度の固定資産税について、課税誤りが1件ありました。

仙北市内で再生可能エネルギー発電に取り組む事業者に対して、償却資産の課税標準額を算出する際、国で定めた再生可能エネルギー発電設備に係る課税標準の特例を適用するにあたり、課税標準額に3分の2を乗じるところを3分の1を乗じ算出したため、本来課税すべき税額を過少に課税したものです。

この事案発生後、対象となる事業者の方には、課税誤りの内容について説明の上、陳謝し、ご理解をいただきました。過少分については、今年度に納付していただくことで納付書をお届けしています。

今後、再発防止のため、システムへの入力処理後の確認や特例等の適用に当たっては、さらに慎重かつ適正に事務を進めます。

## ◇収納推進課の業務状況について

現在、収納推進課は、出納閉鎖までの期間、平成29年度課税分の市税等の収納業務を中心に行っています。特別徴収専門員の4月訪問徴収実績は、実働日数18日、訪問件数280件、徴収税額172万6,500円です。前年同月と比べると、訪問件数78件の増、徴収税額47万7,402円の増となっています。

今後は、平成30年度課税分とともに、過年度分の滞納税額減少に向け取り組みを進めます。

## ◇仙北市の持続可能な開発目標(SDGs)の取り組みについて

国連は、人類及び地球の持続可能な開発のために、全ての国が2030年までに達成すべき課題とその具体的目標をまとめました。

国連が定めた持続可能な開発目標は、自治体を実施している政策、仙北市では第2次仙北市総合計画と密接な関係があり、この目標の達成に向けた政策連携が、課題の解決を加速化し、地方創生に効果をもたらすこととなります。

仙北市においても持続可能な開発目標を着実に推進するため、市長を本部長とする「仙北市持続可能な開発目標(SDGs)推進本部」を設置し、目標の達成に向けた取り組み方針について協議を行いました。

また、政府は自治体における優れた持続可能な開発目標達成に向けた取り組みについて、自治体SDGsモデル事業及びSDGs未来都市として認定し、様々な支援を行うこととしています。この認定に向け、仙北市ではI o T・水素エネルギー利用基盤整備に係る事業計画を申請しています。選定結果は6月中旬に発表される予定です。

持続可能な開発目標の達成は、行政だけでできるものではなく、議会の皆様、市民、民間企業など、仙北市全ての皆様のご協力が必要です。仙北市全体の取り組みとして進めていけるよう、今後、目標達成に向けた取り組み方針の周知に努めます。

なお、本事業の概要については、本定例会中に議会の皆様にご説明

の機会をいただきたいと考えています。

#### ◇ドローンフォーラムへの参加について

5月22日、東京都あきる野市で開催された「あきる野DRONE FORUM 2018」(あきる野ドローン協会主催)に、地域おこし協力隊の播磨靖之(はりまやすゆき)さんと関係職員が出席しました。フォーラムでは「仙北市のドローンの取り組み事例」と題し講演を行い、操縦技術を競う「ドローンテクニカルチャレンジ」の取り組みや、ドローンによる農薬散布など農業分野での活用事例などを紹介しました。

#### ◇玉川温泉水からの水素生成実験に係る報告会について

5月24日、東北大学大学院環境科学研究科長の土屋範芳(つちやのりよし)さんを講師に迎え、同大学の研究グループが昨年11月に成功した玉川温泉水からの水素生成実験の様子や、今後の展望等について報告会を開催しました。議員の皆様をはじめ、市民、国・県・玉川温泉の関係者約40人の方に参加をいただくことができました。

玉川温泉水からの水素生成システムは、二酸化炭素を排出しないため、環境に優しい新しいエネルギー生成方法として期待されます。引き続き東北大学大学院と連携し、実用化とともに水素エネルギーの活用や産業振興に向けた検討を進めていきます。

#### ◇株式会社ポーラとの連携協定について

5月28日、田沢湖ハーブガーデンハートハーブを会場に、仙北市と株式会社ポーラとで「健康・美のためのヘルスケア連携に関する協定」を締結しました。

これは、市民の健康増進を進め、地域における温泉や自然、資源の有効活用、産業振興を図ることを目的としたものです。

当日は、記念事業としてハンドトリートメントの体験や美肌チェックも行われ、今後は連携事業として地域行事などへの参画を計画しています。6月17日には、田沢湖畔で開催される白浜クリーンアップ大作戦の協賛

イベントとして、ハンドトリートメントの体験を予定しています。男女問わず参加可能です。クリーンアップと合わせてご参加いただければと思います。

### **◇秋田新幹線防災対策トンネル整備促進期成同盟会（仮称）の設立について**

秋田新幹線は、秋田県と首都圏等を結ぶ大動脈で、産業や経済、観光など、地域活力の維持・向上に欠かせない社会資本です。

しかし、急峻な奥羽山脈の山岳地帯を横断するため、豪雨や豪雪、強風などの自然災害で、度々安定運行や定時性に支障をきたしています。

そこで、秋田市、大仙市、美郷町、仙北市、岩手県盛岡市、雫石町が集結し、東日本旅客鉄道株式会社が事業主体となる、赤渕～田沢湖間防災対策トンネル整備事業を早期着手いただくよう、同盟会を設立し関係機関へ働きかけることとしました。設立総会は7月18日、大仙市で開催の予定です。

### **◇新角館庁舎の市民説明会について**

新角館庁舎の建設基本設計が完成し、先の臨時議会で実施設計等に必要な予算をご可決いただいたことから、さらに市民の意見を伺い、これを反映させて使い勝手の良い庁舎建設を実現したいと考え、基本設計に係る市民説明会を開催することにしました。

6月6日（水）は角館交流センター、7日（木）は田沢湖総合開発センター、8日（金）は西木総合開発センターで開催し、開会時刻はいずれの会場も午後6時30分から行います。周知については市広報6月1日号にチラシを折り込むとともに、市ホームページ等でお知らせします。

### **◇楽天ポータルサイトでのふるさと納税受付開始について**

ふるさと納税額の増加を図るため、会員数約1億人で、県内自治体の加盟が少ない楽天のふるさと納税に新たに加入し、5月25日から受け付けを始めました。

仙北市のふるさと納税窓口は、「ふるさとチョイス」、「きふたび」、「ふるまる」、「セゾン」、「サイネックス」、「自治体専用サイト」に加え、「楽天」の7つになります。

## 【市民福祉部】

### ◇障害福祉サービス事業所について

田沢湖畔の休業中ホテルを、障害福祉サービス事業所に転用する計画が進められています。運営主体の一般社団法人青風会から4月12日付けで障害福祉サービス事業所の指定申請がありました。

事業所の名称は「タートル・ファミリー田沢湖」で、障害者を対象とする短期入所サービス事業を実施する計画です。法人からは、当初予定されていた定員数や事業開始時期の変更等について福祉事務所に協議があり、現在調整中です。なお、指定申請にあたり、市有地を事業所用地として貸し付けする契約を4月12日付けで同法人と締結しています。

また、障害者福祉サービス事業所「愛仙」を運営する社会福祉法人・秋田ふくしハートネットから、生活介護等複合型障害者福祉施設事業を実施したい旨の要望があり、西木町西荒井地内の市有地貸し付けについて協議を進めています。

### ◇西木調剤薬局の移転新築について

西木調剤薬局の経営者である有限会社すばる代表取締役 鎌田俊(かまたしゅん)さんから、薬局の移転新築について4月12日付けで協力依頼がありました。

現在の薬局は、平成14年に開設され、経年とともに現行制度では機能的に支障をきたし、十分な患者ニーズに対応できないと伺っています。移転に当たっては、高齢化する患者等の安全性と利便性を最重要視する一方、認知症カフェや居場所づくりのサポート薬局としたいとの構

想で、西明寺診療所駐車場用地の一面を希望されています。

市では、相手方の意向に添う形で許可することにしていきます。事業者からは今後、地盤調査を行い、所定の事務手続きを経た上で順次着手し、秋頃オープンする予定と伺っています。

#### ◇「健康ポイント事業」の導入について

健康寿命の延伸に向けた取り組みの一環として、また、市民の健康志向へのインセンティブとして、「健康ポイント事業」を導入することとしました。

保健事業のみならず、介護予防とも連携した事業を盛り込んだ計画としていますが、必ずしも行政が主催するイベントや事業だけではなく、スマートフォンの健康アプリを活用した個人やグループでの活動等も視野に入れています。今後、年次計画で進展性を見据えながら、市民の健康増進の促進と医療費の適正化につなげたいと考えています。

なお、本定例会に所要の補正予算を計上していますので、ご審議をよろしくお願いします。

#### ◇仙北市湯ったり生き活き温泉入浴事業について

2月1日から3月31日まで、湯ったり生き活き温泉入浴事業を実施しました。申請者は1,964人で、入浴券は1人5枚として9,820枚を発行し、利用実績は6,884枚で、利用率は70%でした。今回の試行実績を精査し、温泉を活用した市民の健康増進事業の今後の取り組みについて、関係機関及び庁内関係部署と検討を進めています。

#### ◇温泉プールを利用した健康増進事業と高齢者介護予防推進事業について

クリオン温泉プールを活用し、平成29年度から働き盛りの年齢層を対象に、健康増進と生活習慣病予防を目的として、「メタボ予防教室」と「リフレッシュ教室」を実施しています。延べ677人の参加があり、参加者の

計測分析では、体脂肪率の減少と筋肉量の増加が見られました。

また、65歳以上の方を対象に、健康増進と介護予防を目的として、「わくわく浮き浮き教室」を実施しています。延べ997人の参加があり、参加者から「腰痛や膝痛が緩和された」、「階段の昇降が楽になった」などの感想が寄せられ、実施後の評価測定でも、歩行能力が向上したとの報告がありました。

今後も多くの方に参加いただけるよう事業を継続し、健康増進及び介護予防活動を推進したいと考えています。

### ◇温泉休養施設クリオンプール天井張替工事について

平成28年度に施工したクリオンプール天井材について、シミやカビが発生しました。施工関係業者と協議し、施工業者の負担による天井材の全面張替工事を行うことになりました。工事は利用者の安全面や利用団体等のスケジュールを勘案し、9月に実施することとしています。

## 【観光商工部】

### ◇秋田駒ヶ岳山開きについて

明日、秋田駒ヶ岳の山開き行事を行います。八合目で安全祈願や山頂でのピッケル交換などを予定しています。

秋田駒ヶ岳には、毎年多くの登山客が訪れています。安全に登山ができ、山頂からの素晴らしい眺望を訪れた皆様に堪能いただけるよう、危険個所の表示や道標の設置を行っています。

山開きに合わせ、八合目までのマイカー等規制が開始されます。ご協力をお願いします。

## 【農林部】

### ◇水稻の春作業の状況及び平成30年産米の生産動向について

水稻の春作業については、春先に不順な天候が続いたことから耕起作業等に遅れが生じ、田植え作業の遅れを心配していました。しかし、5月中旬以降は晴天が続いて作業も進み、平年より1日程度の遅れまで

回復しています。5月25日に田植えの盛期を迎え、ほぼ平年並み終期の5月31日となる見通しです。

国からの生産数量目標の配分が廃止となった初年度ですが、本年産米の作付計画、水稻共済細目書の集計によれば、本年1月に仙北市地域再生協議会からJAや集荷業者等の方針作成者に提示した「生産の目安」1万5,166t以内に、現状では何とか収まる見込みです。一方で、一部の県などでは主食用米の作付が大きく増加しているとの情報もあり、米価下落も懸念されています。6月末の確定数値の提出時まで引き続き注視します。また、需要に応じた米生産に努めるよう関係機関と連携し、啓発活動を実施します。

#### **◇5月18日の大雨による農林業施設等の被害状況について**

農林業関係の被害は、5月25日時点で農地の畦畔崩落や土砂堆積、水路の閉塞、頭首工の土砂堆積等が14箇所、林業施設関係では、田沢地区や西明寺地区の林道11路線で路面洗掘や土砂流出の被害が発生しています。早期復旧に向け被害額の調査を行っています。

### **【建設部】**

#### **◇地域高規格道路整備について**

5月25日、国道46号「地域高規格道路」盛岡秋田道路整備促進期成同盟会総会、地域高規格道路大曲・鷹巣道路整備促進期成同盟会総会を開催しました。

国道46号の期成同盟会総会では、盛岡秋田間の沿線全市町が一丸となって活動を強化し、高速移動時代に対応できるアクセス道路の整備として、刺巻地区の線形改良、第2仙岩トンネルの整備を含む道路改良について、推進事項とすることを確認しました。

大曲鷹巣道路の期成同盟会総会では、仙北・北秋田両市境の大覚野峠を含む14.3キロメートルの地域高規格道路整備促進、また狭隘箇所の早期解消について、推進事項とすることを確認しました。

今後は、両同盟会とも関係する自治体と連携し、関係機関への要望

活動や市民フォーラムなどを開催し、さらに気運を高めたいと思います。  
議会の皆様の特段のご理解をお願いします。

### ◇5月18日の大雨による道路施設等の被害状況について

大雨の影響で、国道341号の玉川大深沢から八幡平大場谷地間、市道吉田下田線、霞田2号線内陸線アンダーパス、県道田沢湖西木線田沢湖畔御座石付近で災害防止や冠水のため通行止めとなりました。いずれも19日午前中に通行止めが解除されています。

被害箇所は、市道夏瀬線の路肩が崩落し、現在、片側交互通行となっています。復旧に向け事前調査を行っており、今後、測量調査を実施する予定です。

また、桧木内川河川公園の被害については、土砂撤去費用に係る予算を追加提案したいと考え、現在作業を進めています。

## 【医療局】

### ◇平成29年度決算見込みについて

市立田沢湖病院は、常勤医師1人の減とそれに伴う患者数の減等により、3,548万4,000円の赤字見込みです。市立角館総合病院は、新病院の減価償却が大幅に増加したことにより、4億776万4,000円の赤字見込みです。医療局は、一般会計からの繰入れを計画より前倒しで実施したことで、6,351万6,000円の黒字見込みで、病院事業全体としては、3億7,973万2,000円の赤字見込みとなっています。

以上、主要事項並びに諸般の報告を申し上げます。本定例会に提案している案件は報告関係6件、条例関係2件、予算関係3件、その他1件、人事関係3件、諮問1件の計16件です。

慎重審議の上、全議案についてご可決を賜りますようお願い申し上げます、市政報告とします。